

令和2年2月7日

令和元年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 伊賀サテライト伊賀研究拠点
氏 名 紀平 征希

活動テーマ	伊賀市の小学生の食生活の現状把握と改善プログラムの開発
実施期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>現在、大学、行政や民間を挙げての食育活動が普及、推進されているなか、伊賀市の小学生の食生活の詳細な実態は把握されていない。伊賀市の小学生に対し、効果的な食育プログラムを開発することを目的に、アンケート調査を行い、食生活の偏りなど、改善点についての詳細を分析した。具体的には2019年6月、10月の2回、伊賀市における小学校3校の5年生約314人を対象に、朝食と夕食の食事内容についてのアンケート調査を行った。その結果、伊賀市の小学生の食生活の実態を明らかにすることができた。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>本活動により得られた結果は、伊賀市教育委員会と共有しており、このデータに基づいた効果的な現場での食育の推進が期待される。</p> <p>また、本年度は具体的な食育プログラムを実践するまでには至らなかったことから、次年度、継続して、プログラムの作成・提案を行う予定である。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>共同研究先である伊賀市教育委員会および上野商工会議所の会員である上野ガス(株)とは、数回の会議を持ち、調査内容の検討および調査結果の分析において、密に連携をとりながら実施することができた。また、研究倫理の視点から、大学側が個人データを取り扱わないように、調査用紙の配布・回収については、上野ガス(株)が行った。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>実施学内活動実施者である紀平は伊賀サテライト伊賀拠点の研究員であることから、伊賀市における地域貢献活動の一環として、本調査結果をもとに食育を推進していくことができる。また、磯部は教育学部教授であり、家政教育の食生活分野の教育・研究を担っていることから、今後の大学教育や県内の食育活動の助言に活かすことができる。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）</p> <p>食生活調査アンケート調査の実施、伊賀市小学校3校、対象者314人</p> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について</p> <p>この活動を通して得られた最も大きな成果は、大学と学校現場、企業が連携して食育を推進していく枠組みを作ることができたことである。今後具体的な食育活動に結びつけていくことが課題である。</p>